

医療法人陽心会プレゼンツ ヘルシーセッション

アジアの同胞として、地域の生活を支える提案をしたいですね。(小山)
医療も人と人をつなぐ文化交流の1つの手段だと思えますよ。(ホップ)

レ・ティ・ビク・ホップ × 小山 秀夫

レ・ティ・ビク・ホップ

こやま・ひでお

ハードン医療短期大学 看護部国際協力部門担当
1981年、ベトナム生まれ。2004年に東京都立荏原看護専門学校を卒業後、井上記念病院(千葉県)、SOSインターナショナルクリニック(ハノイ)等勤務を経て、10年よりハードン医療短期大学短期大学看護学科講師(ハノイ)。看護学士。

兵庫県立大学大学院 医療・介護マネジメントコース 名誉教授
1900年、〇〇県生まれ。国立医療・病院管理研究所医療経済研究部部長(92年)、国立保健医療科学院経営科学部部長(2002年)、静岡県立大学経営情報学部学部長(07年)、兵庫県立大学大学院経営学研究科教授(10年)を経て、18年より現職。

日本の「生活リハビリテーション」をASEAN諸国に提案しようという動きが進んでいます。今回はベトナムに現地調査で訪れた兵庫県立大学大学院の小山秀夫名誉教授が、日越両国の医療現場で活躍するハードン医療短期大学のレ・ティ・ビク・ホップさんと、現地の抱える問題や医療貢献の在り方について語り合います。

「生活リハビリテーション」をアジアに提案

小山 医療法人陽心会を中心に進めているア

な感じで(笑)。皆さんとても積極的ですし、海外の情報をよくご存じです。

ホップ そうでしたね(笑)。

小山 私たちが提案しようとしているのは、ASEAN諸国の医療従事者をできればチームで沖縄に招いて日本の生活リハビリテーションを学んでいただき、それを母国で活用していただくというものです。沖縄滞在中は地域イベントの参加などを通して沖縄の文化や風習にも触れていただくなど、地域全体での受け入れ体制を整えたいと思っています。そういう意味では、政府レベルの話ではなくリハビリテーションの「草の根運動」のようなのだともいえますね。

ホップ そうなるとありがたいですね。ベトナムでは医療の連携が必ずしもうまくいっているとはいえません。医師は医師、看護師は看護師と、自分たちの立場以外のことにはなかなか考えが及んでいません。このプロジェクトを通して、例えば医療従事者たちが垣根を越えてチームを組み、患者さんをサポートしていく。それが実現すればとてもいいものになると思います。先ほども申し上げたようにベトナムは急性期医療が中心ですが、これをきっかけにして、生活現場で何ができるのかを考える機運が高まればとてもいいと思います。

小山 ぜひそうなるようにしたいと思います。

ホップ そのためには、どれだけ多くの人が日本で研修を受けたのかではなく、研修を受けた人がどれだけ母国に貢献しているのか。極端に言うと、帰国後に取り組むことを日本での研修前に約束してもらうことも必要かもしれません。そうでないと、単

ジア生活リハビリ研修センター構想推進研究会も、3月25日をもって無事に3回目の報告会を終えました。このプロジェクトは、すでに高齢社会に突入している日本が

に個人のキャリアということだけで終わってしまい、このプロジェクトの趣旨に沿わないおそれもあります。そうすると、すぐもつたないです。

小山 それはさまざまな国際貢献事業が抱える共通の課題でもあります。1人の優秀な方を日本に招いて勉強してもらっても、現地に戻るとさまざまな理由でそれが周囲に広がらずにその人だけのものとなってしまふ。そうならないためには、ぜひチームで沖縄に来ていただいて医療法人陽心会の実践している生活リハビリテーションを学んでもらいたいですね。そして、それを現地の事情に合う形にカスタマイズする。地域社会には高齢者や障がい者、子どもたちを支えていく力があります。その在り方は国や地域によって違うでしょうから、それを各地の事情に合わせて提案しようというのがこのプロジェクトの核心部分です。歴史や文化、宗教、家族制度など国ごとに事情は違いますが、同じアジアの同胞として地域の生活を支えていくと。その基本のパーツの1つとなるのが生活リハビリテーションということです。

ホップ 現場の一線で活躍するチームが丸ごと研修に出してしまうわけですから、その後の現場のフォローも大切になりますね。小山 おっしゃるとおりです。

医療貢献のベースはヒューマニズム

ホップ いろんな組織が技術移転または医療輸出という名目でベトナムを訪れています。ベトナム現地で指導いただくこともあれば、ベトナムの医療関係者が日本に招か

これから高齢社会に向かうASEAN諸国に対し、日本が試行錯誤を重ねて構築した医療介護を提案しようというものです。ホップ 私の母国であるベトナムでも高齢化は急激に進んでいます。その対策は決して万全だとは言いません。

小山 具体的な提案としては、障がいを持つ高齢者の日常生活全般をリハビリテーションと捉える「生活リハビリテーション」を実施しようというものです。私たち研究会の調査メンバーは、今年1月から3月にかけてインドネシア、ベトナム、フィリピンの3カ国に出向き、各国の公立病院や行政関係者、日本大使館、現地で活動しているJICAの職員さんたちから現地の実情や課題などをお聞きしてきました。2月5日から3日間にわたり現地調査を行ったベトナムでは、通訳としてホップさんに大変お世話になりましたね。ホップさんは日本とベトナム両国の医療制度をご存じですので、とても助かりました。

ホップ 私はハノイ医療短期大学看護学部で教員をしていましたが、日本に留学してそのまま医療機関に看護師として就職した経験があります。今回はたまたま小山先生とご縁があつて、通訳として一緒にさせていただきます。この4月からは再び来日して勉強させていただくこともあります。ベトナムでは公立病院など上位の病院から下位の病院に流れていく医療教育システムがありますので、日本の技術を学んだ人たちが地方の病院にしっかりとそれを伝えるいくことが求められています。

小山 ホーチミンのチョーライ病院で地域の事情を聞いてみると「ここでは分かりません。もっと南の地方に行きましょう」と言われました。大都市ではなく地域に出向かないと問題点が見えてこない部分があるということですね。

ホップ その通りですね。

小山 医療というのは大規模なインフラ整備などとは違って、ヒューマニズムのようなものがベースとしてありますから、そこから外れないようにシステムを考えて構築しなければいけません。モノづくりというよりは人づくりですね。ですから、文化交流を交えた息の長い交流を続けていくことが必要だと考えています。

ホップ 私は医療も1つの文化だと思っています。これまでも芸能や経済の交流は盛んでしたが、医療も人と人をつなぐ1つの交流手段になるのではないかと思います。日本の医療は素晴らしいですが、そのままベトナムに持ち込んであまり有効ではないかもしれません。今後も調査を重ねてベトナムの現状を把握いただき、そのうえで考えていただくとすくく良いものになると思います。

小山 どのようにしたら一番お役に立てるのかを継続調査して、今後につなげていきたいと思っています。本日はありがとうございました。ホップ こちらこそありがとうございました。

で、小山先生の下で医療マネジメントの修士課程に在籍しています。

研修者の数ではなく、その後の貢献が課題

小山 今回はハノイとホーチミンの2大都市を調査してきたわけですが、ベトナムにおける医療を取り巻く環境についてお話しただけです。

ホップ ベトナムは急激な経済発展を遂げていますが、同時に人口の高齢化も進んでいます。現在、全人口の7%が65歳以上の高齢者となっていますが、16年後には全体の16%を占めると推測されています。日本では高齢社会に伴う生活リハビリテーションの概念が進んでいますが、ベトナムにおいてはまだまだその考えには至っていません。どうしても容体が急変しやすい急性期医療への対応が中心となっています。

小山 確かに日本と比較すると、リハビリテーションの優先順位は決して高くないというイメージを受けました。社会保障制度の整備が進んでいないこともあるでしょうし、公衆衛生面での課題も多いでしょう。しかし、現地で理学療法士や作業療法士さんたちに「日本に来ますか?」と尋ねると、目を輝かせて「行きます。いつですか?」みたい

ケアハウス 常夏の島
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036
小規模多機能型ホーム 牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025
有料老人ホーム 星の館
那覇市安里1-1-17 TEL.098-917-1262
(提携) 那覇市末吉老人福祉センター
那覇市首里末吉町2-14 TEL.098-886-3510
(提携) 那覇市豊川老人福祉センター
那覇市豊川2-3-11 TEL.098-853-1139
(提携) 那覇市辻老人憩の家
那覇市辻2-14-1 TEL.098-864-0580
(提携) 有料老人ホーム 三原の家
那覇市三原1-26-40 TEL.098-832-5981
(提携) 有料老人ホーム 牧志
那覇市牧志2-9-43 TEL.098-862-1331
(提携) 有料老人ホーム 西町
那覇市西1-20-19 TEL.098-863-7884
(提携) デイサービスセンター リバーサイド
那覇市安里1-18-3F TEL.098-862-1501

社会福祉法人 陽風会

(提携) 有料老人ホーム 大道中央
那覇市字大道127 TEL.098-886-0061
(提携) デイサービスセンター 若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-6122
(提携) 有料老人ホーム 若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0087
(提携) 有料老人ホーム 若狭別館
那覇市若狭2-5-12 TEL.098-863-3320
(提携) 小規模多機能型ホーム 若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550
(提携) グループホーム 若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551
(提携) 小規模多機能型ホーム 辻
那覇市辻1-6-25 TEL.098-951-0070
(提携) 在宅総合ケアセンター 大道
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030
(訪問介護事業所)
那覇市字大道128 TEL.098-885-0033

医療法人 陽心会

那覇市地域包括支援センター 新都心
那覇市銘苅1-6-15 TEL.098-941-2252
那覇市地域包括支援センター かなぐすく
那覇市鏡原町1-68 TEL.098-852-0777
(提携) 福祉用具貸与・販売事業所
那覇市字大道128 TEL.098-885-0100
(提携) 有料老人ホーム 健寿の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070
(提携) 有料老人ホーム 松風邸
那覇市辻2-10-14 TEL.098-869-8557
(提携) ヒルズガーデン那覇
那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300
(提携) デイサービスセンター 松川
那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300
(提携) デイサービスセンター 若狭海岸
那覇市安里64-9-1F TEL.098-941-0110
(提携) デイサービスセンター 大道
那覇市字大道127 TEL.098-886-0066

大道中央病院
那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代)
リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050
メディカルプラザ大道中央
那覇市字大道123 TEL.098-886-0007(代)
一般内科学部 TEL.098-886-0115
循環器部 TEL.098-886-5141
糖尿病部 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検診部門 TEL.098-886-5678
介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030
グループホーム たかまーみの家
那覇市字大道94-3 TEL.098-887-0081
小規模多機能型ホーム 大道
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018
グループホーム 大道が丘
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036
小規模多機能型ホーム 三原
那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027
訪問看護ステーション 陽心会
那覇市安里64-9-1F TEL.098-860-1270
那覇市地域包括支援センター 若狭
那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165